

勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定方針

1 趣旨

日本の急速な少子高齢化や人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度な人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を形成していくため、昨年１１月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、昨年１２月には「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が閣議決定されました。

市においても、昭和３３年の市制施行時の人口 31,400 人がピークで、その後は年々減少傾向にあり、３月末現在の人口は 19,299 人となっており、今後も人口は減少し少子化・高齢化が一層進展することが見込まれ、人口減少の克服、地域経済の発展、活力ある地域社会の形成などが急務の課題となっています。

そこで、まち・ひと・しごと創生法に基づき国及び千葉県が策定するまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案しながら、市の実情を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。

2 策定内容

(１) 勝浦市人口ビジョン

市の人口の現状と将来の姿を示し、人口減少問題に関する基本認識の共有を図り、取り組むべき将来の方向を示す長期的な人口ビジョンとして策定する。

(２) 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略

勝浦市人口ビジョンを踏まえ、将来にわたって活力ある地域を維持するため、市民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進するための計画として策定する。

3 対象期間

(１) 勝浦市人口ビジョン

平成 72 年まで

(２) 勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年度から平成 31 年度まで（5 か年）

4 基本目標（国の基本方針に沿って勝浦市における基本目標の策定）

(国)・地方における安定した雇用を創出する

・地方への新しい人の流れをつくる

- ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

5 策定体制（別紙１）

（１）勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議

勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定及び推進に当たり、市民、産業界・行政機関・大学・金融機関・労働団体（産官学金労）等の関係者の意見を反映するため、勝浦市地方創生総合戦略策定推進会議を設置する。

（２）勝浦市地方創生総合戦略策定推進本部

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定及び推進に全庁横断的に取り組むため、市長を本部長とする勝浦市地方創生総合戦略策定推進本部を設置する。

さらに、本部のもとに、総合戦略等の事業提案などを協議する勝浦市地方創生総合戦略策定推進庁内若者部会を設置する。

6 策定期限（別紙２）

平成２７年度中に策定する。

※平成２７年１０月中旬戦略案策定予定

7 その他

- （１）策定過程における重要事項については、広報かつうらや市ホームページをはじめとする利用可能な情報手段を用いて、広く市民に公表するものとする。
- （２）策定に当たっては、勝浦市総合計画等との整合性を確保するものとする。
- （３）勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、PDCAサイクルに基づき、実施した施策や事業の効果を検証の上、必要に応じて総合戦略を改訂するものとする。
- （４）この策定方針に定めるもののほか、策定に関し必要な事項は、別に定めるものとする。